

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	サウンドアナライズ	授業形態 / 必・選	講義	必修	
		年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	40回(80単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ PAコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	実務経験:30年。 音楽ソフトの企画・制作からプロモーション、アーティストマネジメントに従事。その後、ヘアメイク、スタイリスト、カメラマン、デザイナーなどクリエイターのマネジメントに移行。現在も幅広く業務を行っている。				
授業概要					
さまざまな年代、ジャンルの音楽について知識を深める。 音楽の歴史背景だけでなく楽曲そのものにも触れていく。					
到達目標					
エンジニアとしてアーティストの要望に対応するため音楽ジャンルの幅を広げる。					

授業計画・内容	
【前期】 1～5回目	・クラシック(古典派) 弦楽四重奏(Vln、Vla、Vc、Cb) ・クラシック(ロマン派) Apf ・ラグタイム Resonator
【前期】 6～10回目	・ブルース Guitar, Harmonica ・ジャズ Tp, Sax, Tb, C.B, Hammond Organ, Leslie Speaker (ビックバンドジャズ) Vib, Ondes Martenot
【前期】 11～15回目	・カントリーミュージック Banjo, Steel Guitar, Resonator G. ・R&B(リズム&ブルース) Mandolin, Bandoneon, Auto Harp ・ゴスペル String Bender, Wurlitzer, Clavinet
【前期】 16～20回目	・ロックンロール ・70年代歌謡曲 CP70 ・80年代歌謡曲 DX-7
【後期】 1～4回目	・90年代歌謡曲 SEQ ・ロック Mellotron, Moog Theremin ・サーフィンロック ・グラムロック
【後期】 5～8回目	・プログレッシブロック ・パンクロック ・ハードロック Mashall, Fender Twin, Ampeg ・フュージョン Rhodes
【後期】 9～12回目	・ボサノヴァ ・シャンソン ・インディアンミュージック Sitar, Electric Sitar ・レゲエ
【後期】 13～16回目	・ハワイアンミュージック Ukulele ・ヘビーメタル Twin BD ・ジャパニーズ・メタル
【後期】 17～20回目	・ヴィジュアル系ロック ・ジャパニーズ・ロック
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	自分の好きな音楽だけではなく、幅広く音楽ジャンルを知識として学びましょう。 フェイバリットアーティストの影響を受けたアーティストの事を知ることも大切です。
使用教科書	オリジナルPDFテキスト

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	ステージ音響概論 I	授業形態 / 必・選	講義	必修	
		年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	40回(80単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ PAコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	実務経験:17年 大手PA会社を経て現在数々のコンサートツアー現場で活躍中 一方ホール管理スタッフも同時に担当しマルチに活躍				
授業概要					
16号館実習教室を使用した各種実習および機材を使用した実践的な実習を行う。					
到達目標					
PAについての基礎的な知識を習得					

授業計画・内容	
【前期】 1～5回目	PAについて 音の伝達と伝搬、音の三要素 耳の特性と音の特性
【前期】 6～10回目	電気について 電圧と電流、電力と周波数、電源容量とケーブルとコネクタ 用語や法則、電子部品
【前期】 11～15回目	マイクとDIIについて 動作原理とフレミングの法則 マイクの種類と指向性、特性
【前期】 16～20回目	接続コネクタとケーブルについて XLRコネクタ、フォンプラグ、変換プラグと変換ケーブルとマルチケーブルと マルチボックスの構造と取り扱い、スピーカーケーブルとSPEAKON
【後期】 1～4回目	ミキサーについて 信号の流れと、インプットからアウトプットまでの処理と基準レベル HPFやイコライザーでの調整、AUXやGROUP、MATRIXへの出力
【後期】 5～8回目	アンプについて プリアンプとパワーアンプ、インピーダンスの関係 dB(デシベル)、GAINと入力感度、S/N比
【後期】 9～12回目	スピーカーについて 基本構造と、動作原理 クロスオーバーとプロセッシング
【後期】 13～16回目	楽器について 音楽の3要素と楽器の分類、オーケストラとアンサンブル、邦楽器と電子楽器 楽譜の見方と楽器の略称
【後期】 17～20回目	舞台用語と舞台図面について 舞台の機構と名称、舞台の道具 舞台図面と、安全管理
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	実習・イベント時の格好 LEDライト・テスター・黒/白ビニールテープ・マジック・クリアファイル持参
使用教科書	オリジナルテキスト随時配布(PDF)

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	一般教養講座	授業形態 / 必・選	講義	必修	
		年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	40回(80単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ 企画制作コース/舞台製作コース/PAコース/照明コース/ライブハウスコース ローディーコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input type="checkbox"/> 非該当 <input checked="" type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	/				
授業概要					
「コミュニケーション能力」「状況判断能力」「説明能力」の3点をテーマとした講義。					
到達目標					
社会人としての基礎的スキルの習得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～5回目	グループワークの基本 状況説明 ・地図、図形、絵の言語化 ・話の整理、要約
【前期】 6～10回目	文章講座 ・「話し言葉」と「書き言葉」 ・日本語の基本構文、5W1H
【前期】 11～15回目	ビジネス文書 ・ビジネスメール ・社内文書
【前期】 16～20回目	ビジネス文書 ・社外文書 ・社交文書
【後期】 1～4回目	コミュニケーション ・概論 ・非言語コミュニケーション ・言語コミュニケーション ・説得的コミュニケーション
【後期】 5～8回目	敬語 ・敬語の種類 ・尊敬語の使い方 ・謙譲語の使い方
【後期】 9～12回目	敬語 ・実践 間違いやすい敬語、仕事でよく使われる敬語
【後期】 13～16回目	心理学講座 ・人の錯覚、思い込み ・自分を知る(心理テスト) ・他者からの影響、社会からの影響 ・自分の長所、他者との関わり方
【後期】 17～20回目	就活に向けて ・音楽に関わる仕事、自分に向いている仕事 ・情報収集について ・履歴書を書く
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	社会に出てから必要とさせるビジネスマナー 恥ずかしくない人間構築を目指しましょう!
使用教科書	随時テキスト配布

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	パソコン講座 I	授業形態 / 必・選	講義	必修	
		年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	40回(80単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ 企画制作コース/舞台製作コース/PAコース/照明コース/ローディーコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	実務経験:28年 デザイン会社で雑誌・パンフレット制作を担当。 DTP(デスクトップパブリッシング)のデザイン制作から広告などの企画提案・制作・ディレクション業務に至る一連の業務に従事。				
授業概要					
通常業務でよく使用されている「Word」「Excel」「Illustrator」についての解説、操作実習。 フライヤー・WEBプロモーション時における情報管理の徹底、SNSの取り扱いについて					
到達目標					
音楽業界で必要とさせる「Word」「Excel」「Illustrator」の3つのソフトの基本的な操作方法。 就職してからすぐに役立つ技術の修得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～2回目	social networking service、ネットリテラシー等 ・イベント開催時におけるSNS利用の効果と注意点 ・情報管理(コンプライアンス)について、守秘義務の重要性
【前期】 3～8回目	Microsoft Excel ・Excelの基本操作 ・タイムテーブル
【前期】 9～14回目	Microsoft Excel ・簡単な計算 ・予算書 ・スケジュール管理
【前期】 15～20回目	Microsoft Word ・Wordの基本操作・文字の入力 ・応用課題
【後期】 1～4回目	Adobe Illustrator ・簡単な名刺作成
【後期】 5～8回目	Adobe Illustrator ・地図の作成
【後期】 9～12回目	Adobe Illustrator ・フライヤー製作
【後期】 13～16回目	Adobe Illustrator ・簡易的な図面
【後期】 17～20回目	Adobe Illustrator ・デザインの基礎
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	エンターテインメント業界で、必要とさせるパソコンスキル 基礎から学び就職してからすぐに役立つ技術の習得 苦手意識持たずにTRYしていきましょう。
使用教科書	学園MAC使用

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	ステージ音響実習 I	授業形態 / 必・選	実習	必修
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	84回(168単位時間)	年間単位数 5単位
科目設置学科コース	<<音楽芸能スタッフ科>> PAコース			
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>			
担当講師 実務経歴	実務経験:30年 大手PA会社を経て現在数々のコンサートツアー現場で活躍中 一方ホール管理スタッフも同時に担当しマルチに活躍			
授業概要				
11号ホールにてチームに分かれて実際の機材や機構等を確認しながらの実践実習				
到達目標				
PAについての基礎的な内容を習得				

授業計画・内容	
【前期】 1～10回目	PAについて 音の伝達と伝搬、音の三要素 耳の特性と音の特性
【前期】 11～20回目	電気について、電圧と電流、電力と周波数 電源容量とケーブルとコネクタ 用語や法則、電子部品
【前期】 21～30回目	マイクとDIIについて 動作原理とフレミングの法則 マイクの種類と指向性、特性
【前期】 31～40回目	接続コネクタとケーブルについて XLRコネクタ、フォンプラグ、変換プラグと変換ケーブル マルチケーブルとマルチボックスの構造と取り扱い、スピーカーケーブルとSPEAKON
【後期】 1～4回目	ミキサーについて 信号の流れと、インプットからアウトプットまでの処理と基準レベル HPFやイコライザーでの調整、AUXやGROUP、MATRIXへの出力
【後期】 5～8回目	アンプについて プリアンプとパワーアンプ、インピーダンスの関係 dB(デシベル)、GAINと入力感度、S/N比
【後期】 9～12回目	スピーカーについて 基本構造と、動作原理 クロスオーバーとプロセッシング
【後期】 13～16回目	楽器について 音楽の3要素と楽器の分類、オーケストラとアンサンブル、邦楽器と電子楽器 楽譜の見方と楽器の略称
【後期】 17～24回目	舞台用語と舞台図面について 舞台の機構と名称、舞台の道具 舞台図面と、安全管理
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	実習・イベント時の格好 LEDライト・テスター・黒/白ビニールテープ・マジック・クリアファイル持参
使用教科書	オリジナルPDFテキスト

## 専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	音楽業界基礎講座	授業形態 / 必・選	講義	必修	
		年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	42回(84単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ 企画制作コース/舞台製作コース/PAコース/照明コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	実務経験:25年。 ポストプロダクションにてアシスタントオペレーターを経験後、プロダクションや音楽出版社にてマネジメント、ファンクラブ、宣伝、営業、デスク、経理と様々な業務に従事。メジャーからインディーズ・シーンまで、幅広い人脈を活かして活動中。				
授業概要					
エンターテインメント業界を目指すためのノウハウを学ぶ。社会人としてのマナー講座・キャリアトレーニング。					
到達目標					
秘書検定取得を目指す。					

授業計画・内容	
【前期】 1～5回目	エンターテインメント業界の構図 芸能業界の全体像 プロダクションの業務内容
【前期】 6～10回目	レコード会社の業務内容 著作権について
【前期】 11～15回目	音楽出版社の業務内容 放送局/出版社/Webメディア TV・ラジオの業務内容
【前期】 16～20回目	ポストプロダクション 映像制作会社/編集スタジオ/MAスタジオ/音プロ RECスタジオ/マスタリングスタジオ/リハーサルスタジオ
【後期】 1～4回目	キャリアトレーニング授業概要 必要とされる資質 心構え・条件
【後期】 5～8回目	職務知識 役割・機能・職務 一般知識 企業の基礎知識・企業の組織と活動・社会常識
【後期】 9～12回目	マナー・接遇 人間関係と話し方・聞き方の応用 マナー・接遇 電話の応対・交際
【後期】 13～16回目	技能 ・会議と秘書 ・ビジネス文書と秘書 ・文書管理/資料管理/日程管理 ・オフィス管理
【後期】 17～22回目	秘書検定試験対策 ビジネスマナー 必要とされる資質・企業実務/対人関係・技能
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	「音楽業界のルール」、そして「一般社会のルール」 専門知識以外知らなくては、いけない事が多いです。 良い大人になる為頑張りましょう!
使用教科書	秘書検定テキスト

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	DAW基礎講座	授業形態 / 必・選	講義	必修	
		年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	42回(84単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ PAコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	実務経歴:33年 コロムビアスタジオにてアシスタントを経験し、サウンドスカイスタジオに移籍。その後 トーンマイスターにて専属エンジニアとなる。1999年よりフリーランスとなりレコーディン グエンジニア、PAエンジニアとして活躍中。				
授業概要					
ProToolsを使ったPC上でのMixのノウハウを学ぶ。 「音」を聴覚だけではなく視覚で読取る。					
到達目標					
ProTools上でのエフェクト・EQを含めたMix技法の習得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～5回目	DAWとは？、ProToolsとは ProTools Roomの使い方、ファイルの扱い方、ショートカットキー
【前期】 6～10回目	AG+Vo , Key+Vo , Orch+Voなど編成の小さな演奏のバランスどり(MIX) Master Fader / Master Level / Reverb (Aux Track) / Delay (Aux Track)
【前期】 11～15回目	AG+Vo , Key+Vo , Orch+Voなど編成の小さな演奏のバランスどり(MIX)。 Reverb (Aux Track) / Delay (Aux Track) / EQ / Filter (INSERT)
【前期】 16～20回目	AG+Vo , Key+Vo , Orch+Voなど編成の小さな演奏のバランスどり(MIX) Comp (INSERT)
【後期】 1～4回目	Band STEM でのバランスどり(MIX) バランスのととり方 / Reverb / Delay / EQ / Comp を使ってMIX
【後期】 5～8回目	Band STEM でのバランスどり(MIX) Reverb(複数) / Delay / EQ / Comp を使ってMIX
【後期】 9～12回目	Dr Kit バランス(全部バラバラ)でのバランスどり(MIX) Reverb / Delay / EQ / Comp / Gate を使ってMIX / Group / Sub Group / VCA Goup
【後期】 13～16回目	Dr Kit バランス(全部バラバラ)でのバランスどり(MIX) Group / Sub Group / VCA Goup / Reverb / Delay / EQ / Comp / Gate
【後期】 17～22回目	Dr Kit バランス(全部バラバラ)でのバランスどり(MIX) Reverb / Delay / EQ / Comp / Gate
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	世界標準機「Pro Tools」多くの技術を習得して下さい。
使用教科書	オリジナルテキスト随時配布(PDF)

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	PA実習 I		授業形態 / 必・選	実習	必修
			年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	82回(164単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ PAコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	実務経験:30年 大手PA会社を経て現在数々のコンサートツアー現場で活躍中 一方ホール管理スタッフも同時に担当しマルチに活躍				
授業概要					
本館ホールにてチームに分かれたセットアップ～チェックの基礎的な練習。 小規模編成のミキシング技術の習得。					
到達目標					
PAについての基礎的な内容、結線の仕組みシステムの構築技術の修得					

授業計画・内容	
【前期】 1～10回目	機器の取り扱い ケーブルの敷設と撤去 重量物の安全な運搬
【前期】 11～20回目	電源の扱い方 電位差とノイズの関係 弱電ケーブルとの違い
【前期】 21～30回目	アナログコンソールについて1 基準レベルとレイアウト HAとHPF、インプットについて
【前期】 31～40回目	アナログコンソールについて2 AUXとGROUPバス アウトプットについて
【後期】 1～8回目	アナログコンソールについて3 EQとインサート チャンネル処理と、外部インサートについて
【後期】 9～16回目	デジタルコンソールについて1 デジタル卓の取り扱い レベルマッチング
【後期】 17～24回目	デジタルコンソールについて2 デジタル卓の構築と操作 プロセッシング
【後期】 25～32回目	音源再生でのイベントオペレート Qlabを使ったオペレート
【後期】 33～42回目	バンド形態のイベントオペレート
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	実習・イベント時の格好 LEDライト・テスター・黒/白ビニールテープ・マジック・クリアファイル持参
使用教科書	オリジナルPDFテキスト



## 専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	PA実地演習 I	授業形態 / 必・選	演習	必修	
		年次	1年次		
授業時間	180分(1単位時間45分)	年間授業数	9回(36単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ PAコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目                 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	各科目担当講師、及び研修先のご担当者様等。				
授業概要					
それぞれのイベント等において接客対応、現場における作業について研修を行う。					
到達目標					
現場における作業、流れ等のノウハウ習得。 イベント等を協力して作り上げることによるコミュニケーション能力の向上。					

授業計画・内容	
1～2回目	学生コンサート・ライブ実習①② 各セクションの作業内容、タイムテーブル、関連性を学ぶ
3～4回目	外部コンサート・ライブスタッフ研修 ①屋内会場 ②屋外会場
5～6回目	学園祭準備①②
7～8回目	学園祭①②
9回目	学園祭片付け、原状回復
評価方法	平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	この演習を通じて、現場における流れや、他社とのコミュニケーションの仕方等確りと学んでください。
使用教科書	当日の役割分担表、業務要項等を配布